月光の女（1940）

THE LETTER

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 95分
初公開日 1950/12/14
公開情報 セントラル

【解説】

Ｓ・モームの名作戯曲『手紙』の映画化。マレーのゴム園主ロバート（マーシャル）の妻レスリー（デイヴィス）は、ハモンド（スティーヴンソン）という男を殺害。彼女は正当防衛を主張。夫も弁護士もそれを信じたが、弁護士の助手オン・チャイが、事件当日のハモンド宛のレスリーの手紙の存在をほのめかす。所有者はハモンドの現地人の妻（ソンダーガード）で１万ドルで売り渡すと言う。ロバートは全財産を擲って手紙を入手し、レスリーの判決も無罪に。彼は、彼女とハモンドの間の愛情を手紙の内容で知ったが、なおレスリーを愛しており、マレーを去って新生活に入ろうと誘う。が、未だ愛人への想いを断ちきれないでいるレスリーは夫を避けて出た庭先で、ハモンドの妻と召使いの憎悪の刃に絶命した。その瞬間、雲の合間から眩い月光が射すのだった。むせる南国のムードを濡れたカメラが滑らかに捉え、ワイラーは、デイヴィスとスティーヴンソンの愛の形容し難いテンションを見事に映像にしている。ソンダーガードの存在感を煽るような原始的なイメージ作りが、彼女の不気味さをいや増させる。８１年に「手紙」としてＴＶムービー化された。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ワイラー	William Wyler
製作	ハル・Ｂ・ウォリス	Hal B. Wallis
原作	サマセット・モーム	Somerset Maugham
脚本	ハワード・コッチ	Howard Koch
撮影	トニー・ゴーディオ	Tony Gaudio
音楽	マックス・スタイナー	Max Steiner
出演	ベティ・デイヴィス	Bette Davis
	ハーバート・マーシャル	Herbert Marshall
	ジェームズ・スティーヴンソン	James Stephenson
	フリーダ・イネスコート	Frieda Inescort
	ゲイル・ソンダーガード	Gale Sondergaard
	エリザベス・アール	Elizabeth Earl

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.